

## 土木と私

前田建設工業株式会社  
関西支店  
新幹線足羽川作業所

おおほらまゆみ  
大原真由美



### 土木へのルーツ

私の父は高社勤めで転勤族でした。中学生までは父の転勤のたびに家族で引っ越しをしていたので、東京↓横浜↓広島↓大阪と各地で過ごしました。転校することは寂しくも有りましたが、「住めば都」、どの地でも新しい友達を見つけて常に活発に遊びまわっている子でした。私が高校生の時に阪神淡路大震災が発生しました。当時私は大阪に住んでおり、ドーンと突き上げるような音の後、非常に大きな揺れで飛び起きました。あまりの恐怖で呆然としている所に両親が駆け寄ってきて我に返りました。その後の報道で多くの方が亡くなったことを知り、非常に心が痛みました。また、ビル・家屋が倒壊し、鉄道・道路が寸断している映像が流れるたびに気持ちが重たくなりました。しかし、震災後の復旧は目を見張るスピードで進み、一カ月もたたないうちに電気や水道といった生活インフラの多くが復旧しました。高架橋が倒れ、橋桁が落下していた鉄道・道路も半年後にはほぼ全線開通を果たしました。復旧の報道が流れるたびに少しずつ心が晴れ、気持ちも明るくなり、ふと、「これは誰の力なのだろう」と考えた時に『土木』という分野に興味を持ちました。大学は親元を離れ土木工学科に進みましたが、高校生の時から続けていたバレーボールに打ち込み、あまり真面目に勉強に励むタイプではありませんでした。

### いざ、ゼネコンへ

私が就職したのは二〇年前です。当時、土木を学ぶ女性は非常に少なく、その多くがコンサルタント業または公務員に就職をしていました。しかし、現場の最前線でモノ造りがしたい、震災の時に感じた「開通」の喜びを自分の手で成し遂げたいという思いが強く、ゼネコンで働くことを志望しました。入社と同時に品川のポンプ場の現場に配属になりました。弊社では現場配属の女性土木技術者の第二号でした。右も左もわからない私は、自分のペースが掴めないまま、先輩に言われることをジタバタこなすのが精一杯でよく怒られました。想像していた以上に体力的に厳しかったのですが、「男性と同じことをしないと、女性として特別視されてしまう」という気持ちが強く、今思えば非常に空回りな仕事をしていました。その後、関西支店に転勤になり、地下鉄・鉄道高架橋・護岸改修・道路橋・山岳トンネルと多くの現場経験を積み、自分がするべきことは他人と比較することでは無いと気付きました。

二〇一六年、中国四国農政局発注のシールド工事現場で現場代理人を拝命しました。徳島県の旧吉野川沿いに農業用幹線水路を構築するものでした。アユやウナギが生息する自然豊かな河川区域内を、直径五・四mのシールドを掘進する工事で、周辺環境に配慮が必要な昼夜



吉野川シールド貫通（左から2番目）



新幹線足羽川作業所女性職員4名（一番右）

現在私は、福井県で北陸新幹線建設工事に従事しています。福井駅を含む約一・五kmの区間を高架橋で構築する工事です。街中という環境もあり当作業所には弊社の女性土木技術者が四名在籍しています。工期が厳しい現場ですが、皆、高い向上心を持っている姿を見ると、性別は一つの個性ではありませんが、それ以外の何物でもないと感じます。弊社では、一〇年ほど前から毎年土木職の女性を採用しており、近年はコンスタントに五〜六名入社しています。多くはまず現場で経験を積み、その後、経験を活かして多様な部署で活躍をしています。ゼネコンは総合建設業であり、活躍のチャンスが多様な事が魅力の一つです。とは言え、私が入社以来こだわっている「現場」となると、結婚・出産や身体的理由もあり長く続ける事は難しいのが現状です。私は入社一〇年目に結婚をしましたが、子供を授けられなかったこと、主人が同業で理解が深かったこともあり、結婚後も単身赴任をしながら現場を渡り歩いています。弊社では「働きやすい職場環境づくり」の一環として数年前からテレワーク制度を導入して

気の抜けない工事でした。施工中は多くの課題が発生しましたが、発注者をはじめ、本支店、現場で働く上司・部下、多くの方に支えられ二〇一八年に竣工を迎えました。

## 女性活躍について思う事

おり、育児をしながら現場土木技術者として働いている女性もいますが、まだ少数です。

## これからのこと

私の入社以来の目標は「現場の所長になること」です。まだまだ道半ばですが、一歩ずつ目標に近づけるように職務に励むと共に、今後の女性活躍の足掛かりとして少しでも貢献できれば良いと考えています。土木技術者として働く女性が増えてきていますが、それでもまだ皆が先駆者です。新しい道を切り開き、多様な可能性を見出して欲しいと思います。最後になりますが、幼少のころから培った引っ越し経験「住めば都」をモットーにその土地ならではの行事・文化・食（酒）を楽しみながら前を向いて歩いていこうと思います。



徳島県吉野川でラフティング  
（右前が私、倒れているのが主人）

大原さんよりバトンを受け取ります。  
次号では駅改良・周辺開発に伴う鉄道土木工事について、また、現場で女性が働くことについて感じたことをお話したいと思います。

鉄建建設株式会社 東京鉄道支店  
品川駅作業所

やまはた  
山端 杏子

